

福島第一原子力発電所現地確認報告書

- 1 確認日
平成30年 6月 5日 (火)
- 2 確認箇所
増強ピット及び新設ピットNo. 201～203
- 3 確認項目
増強ピット及び新設ピットの設置状況

4 確認結果の概要

サブドレンのくみ上げ能力を向上させるため、1～4号機原子炉建屋及びタービン建屋廻りに新設ピット^{※1}が設置されているが、当該ピットは口径が小さく、ピット内の水位の上昇・下降速度が早いことから、ポンプの発停回数が多い。その対策として、新設ピット近傍に口径の大きな増強ピット^{※2}を設置したことから、増強ピット及び新設ピット (No. 201～203) の設置状況を確認した。

- ・増強ピット No. 201～203 は、それぞれ新設ピット No. 201～203 の近傍に設置されていた。
- ・ピット廻りはコンクリートが打設されており、金属製の箱で覆われており、雨水浸入対策が実施されていた。(写真1)
- ・また、移送配管にはPE管が使用されており、カーボンブラックを添加した被覆材が巻かれており、漏えい防止対策及び紫外線による劣化防止対策についても実施されていた。(写真2)
- ・新設ピット No. 201～203 は、いずれもその廻りに移送配管や電源ケーブルは敷設されておらず、現在使用している様子はなかった。(写真3)

※1 サブドレンのくみ上げ能力を向上させるために1～4号機原子炉建屋及びタービン建屋廻りに設置した地下水くみ上げ用の井戸。

※2 新設ピットの改良型の地下水くみ上げ用の井戸。ポンプの発停回数を抑制させるために新設ピットよりも口径を大きくしている。



(写真1)



(写真2)



(写真3)

5 プラント関連パラメータ確認

各パラメータについて、前日と比べ有意な変動は確認されなかった。